

2025年8月3日(日)

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

聖霊降臨節第9主日

平和聖日

<p>朝第1礼拝 9:00~10:10 朝第2礼拝 10:30~12:00 <神の招き> 前奏 ①② 装いせよ、わが魂よ パッサ 招きの詞 イザヤ書 2 : 2~5 交読詩編 102 : 16~23 讚美歌 17 <神の言葉> 聖書 ゼカリヤ書 13 : 7~9 (旧約 聖書協会共同訳 1470 頁) マルコによる福音書 14 : 26~31 (新約 聖書協会共同訳 90 頁) 祈禱 美歌 371 信仰告白 ②日本基督教団信仰告白 洗礼式 ② 讚美歌 ② 67 説教 「先立つ主イエスに従って」 熊江秀一牧師 祈禱 美歌 449 聖餐 美歌 78 <神への応答> 信仰告白 ①日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告 ②関東教区日本基督教団罪責告白リタニー 頌栄 28 派遣と祝福 後奏 ①② 深き淵よりわれ汝に呼びおこす ベーム 宣教報告 ①</p>	<p>夕礼拝 18:00~19:10 <神の招き> 前奏 前奏曲八長調 シャイデマン 招きの詞 イザヤ書 2 : 2~5 交読詩編 102 : 16~23 讚美歌 6 <神の言葉> 聖書 イザヤ書 40 : 3~5 (旧約 聖書協会共同訳 1107 頁) ルカによる福音書 3 : 1~6 (新約 聖書協会共同訳 104 頁) 祈禱 美歌 416 説教 「主の道を備える者」 佐藤潤伝道師 祈禱 美歌 441 聖餐 司式 熊江秀一牧師 讚美歌 78 <神への応答> 信仰告白 日本基督教団信仰告白 献金 主の祈り 宣教報告 28 頌栄 派遣と祝福 後奏 高きにいます神にのみ栄光あれ ツァハウ</p>
<p>今週の御言葉 (マルコによる福音書 14 : 27~28) イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたは皆、私につまずく。『私は羊飼いを打つ。すると、羊は散らされる』と書いてあるからだ。しかし、私は復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く。」</p>	

次週の礼拝(8月10日)

<p>① 9:00、② 10:30 説教「ゲツセマネの祈り」熊江秀一牧師 イザヤ書 50 : 10~11、 マルコによる福音書 14 : 32~42 交読詩編 107 : 1~9 讚美歌 18、50、440、28</p>	<p>夕 18:00 説教「悔い改めの実」佐藤潤伝道師 ミカ書 6 : 6~8、 ルカによる福音書 3 : 7~14 交読詩編 107 : 1~9 讚美歌 14、197、512、25</p>
--	--

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

■今週の祈禱課題■

独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 平和を語る会とキリストの平和の為に
4. 埼玉地区教会全体修養会の為に
5. 広島・長崎の原爆記念日(80年)の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄弟の為に

*関東教区お祈りカレンダー 館林教会 安中教会 原市教会

11～14節では、神による救いの確かさが具体的に示されています。私たちがキリストにあって受けている救いは、信仰の強さや感情によって左右されるものではありません。たとえ不安や心配に苛まれ、信仰が揺らぎ、時には神を信じることさえ難しく思えるときがあっても、神は、決して変わることはないに決断によって私たちを救いへと選び出してくださっています。この「選び」は、神に選ばれたいという思いや願いに基づくものではありません。ただ一方的な神の恵みによって与えられる確かなものです。

その確かさの保証として、約束された聖霊が与えられ、神の子どもであり、神に属する者であることが証しされています。約束された聖霊によって証印を受けるとは、私たちが、神によって選び出され、確かに神の子どもとされ、本当に神のものであるということです。聖霊は、不信仰で頑なな石の心を、神を愛し、人を愛する心へと内側から新たに造り変える力です。

その働きが実際に現れているのが教会です。私たちを恵みの選びによって教会に呼び集めてくださっています。このことが、神によって選ばれていることの証拠です。いかなる状況の中でも、変わらない神の愛と救いの計画に信頼しつつ、神をほめたたえ続けていくのです。

教会の礼拝で、聖書のみ言葉が語られ、聞かれ、信じて、賛美と祈りを捧げます。そのことによって、聖霊の働きを受け、信じる者とされる。そして、この地上での歩みを神ご自身が守り、神の子にふさわしく生きる者へと変えられていきます。神は約束を必ず守るお方です。だからこそ、私たちはこの確かな希望に生かされながら、神の国を受け継ぐその日を待ち望むのです。この確信と希望に生かされていることに感謝して神をほめたたえていくのです。これが教会の姿であり、キリスト者としての生き方です。